

社会福祉施設等

ボランティア・コーディネーター研究協議会

「ボランティア受け入れの現状と課題」

～ボランティアの充実感を高めるために～

開催趣旨

施設等で活動するボランティアは、利用者の生活を豊かにするだけでなく、日常の運営を支えるうえでも欠かせないものです。利用者の社会性を育み、地域に密着した施設として住民に理解してもらうためにも、ボランティアは大きな意味を持ちます。

いま、企業の社会貢献活動や学校での奉仕活動、あるいは退職した団塊世代の人々などの間でボランティア活動への関心が高まっています。今後、さまざまな分野の人たちが、ボランティアとして施設を訪れる機会が増えていくでしょう。こうした人々を積極的に受け入れ、長期にわたって関わりをもってもらうためには、適切なコーディネーションが欠かせません。

本研究協議会では、施設・利用者・ボランティアのよりよい関係づくりのために、どのようなボランティア・コーディネートが求められるのか、事例報告と意見交換をふまえながら、みなさんとともに考えたいと思います。

日時 2009年11月13日(金) 10時～17時

会場 飯田橋セントラルプラザ 12階 他

東京都新宿区神楽河岸1-1

JR・地下鉄(有楽町線、南北線、東西線、大江戸線:出口B2b)飯田橋駅下車



主催 東京ボランティア・市民活動センター

TEL: 03-3235-1171 FAX: 03-3235-0050 <http://www.tvac.or.jp>

東京ボランティア・市民活動センターは、営利を目的とせず、さまざまな分野のボランティア活動や市民活動、NPOなどの推進・支援を行っています。(運営主体:社会福祉法人東京都社会福祉協議会)

- 対象
- ①社会福祉施設等のボランティア受け入れ担当者
 - ②社会福祉協議会・ボランティアセンター等ボランティア活動推進団体の職員
 - ③その他、施設におけるボランティア活動の推進にかかわる方、関心のある方

定員 120名

参加費 一名につき 3,000円

◆別紙申込書をFAX・郵送していただくか、またはホームページにてお申込ください。

社会福祉施設等ボランティア・コーディネーター研究協議会

「ボランティア受け入れの現状と課題」

～ボランティアの充実感を高めるために～

<プログラム>

- (オリエンテーション) 10:00～10:10
- 【事例報告・課題提起】
「施設・利用者・ボランティアのよりよい関係づくりのために」 10:10～11:30
発表者：片岡 高博さん
(社会福祉法人 多摩同協会 府中市子ども家庭支援センターたち センター長)
- 【分科会：事例報告と意見交換】「ボランティア受け入れの現状と課題」 12:30～15:30
(休憩 含む)
- 第1分科会：ボランティア対応の流れ～ボランティアマネジメントについて～
事例報告：登壇者調整中 (文京区立本郷福祉センター 若駒の里)
- 第2分科会：ボランティアの受け入れとリスクマネジメントについて
事例報告：波多 啓造さん (港区立芝浦アイランド児童高齢者交流プラザ 副館長
[運営事業者：財団法人 東京YMCA])
- 第3分科会：ボランティア活動者に対応する多様なプログラムについて
事例報告：服部 安子 さん (社会福祉法人 浴風会)
- ボランティアを受け入れ、利用者・施設とよりよい関係をつくっていくために、ボランティア・コーディネーターとして、また施設としてどう取り組むか、ボランティアマネジメント、リスクマネジメント、活動プログラム作成の課題別に考えてみましょう。
- 【全体会】
各分科会報告 (各分科会事例報告者) 15:40～16:10
- まとめ 16:10～17:00
「ボランティア・コーディネーターの役割 ～ボランティアの充実感を高めるために～」
山崎美貴子 (東京ボランティア・市民活動センター所長/神奈川県立保健福祉大学学長)

■申し込み方法

- ・別紙の参加申込用紙に必要事項を記入の上、ファックスまたは郵便で下記あてにお送り下さい。ホームページからも申込みます。なお、受け入れ状況に関する事前調査にご回答下さい。

■申し込み期限

- ・ 11月6日(金)までに別添申込用紙により下記あてにお申し込み下さい。 ※定員になり次第締切

■申込み・問合せ先

東京ボランティア・市民活動センター (近江、吉田、高山)
〒162-0823 新宿区神楽河岸1-1 (飯田橋セントラルプラザ 10階)
〔電話〕 03-3235-1171 〔ファックス〕 03-3235-0050
〔ホームページ〕 <http://www.tvac.or.jp/>